平成29年度　在宅医療・介護連携推進事業
活動報告（前期・中期）

いちき串木野市医師会
在宅医療・介護連携推進事業
コーディネーター　南新　敦子

平成29年度　第1回推進チーム連絡会
【今年度の活動について】　平成29年5月25日開催

【チームCKH】

調査広報を担当

研修企画の参考調査として医療・介護関係機関職員に向けたアンケートを実施し、集計結果を他2チームへ連携する作業を実施しました。一方では地域資源マップ作成に取り組み、医療、介護関係機関で必要な情報についてのアンケートを実施し、作成に向けて作業を進めています。

【おうちに帰ろう班】
在宅医療体制構築を担当

訪問診療を行う医師を増やすための取組みについての企画や、地域住民への在宅医療についての広報や相談についての計画を進めています。医師への負担軽減に繋がる訪問看護との連携やMCSを活用する情報共有についてなど医師や地域に向けた講座、広報窓口開設の実施に向け取組を進めています。

【チームトレプラ】
在宅医療・介護連携について研修企画を担当する

チームCKHの集計データを基に研修会や講演会の企画を進めています。初めに在宅医療介護連携推進事業についての概要など地域医療、介護の関係スタッフに知ってもらう研修会開催を企画し準備を進めています。

平成29年度在宅医療･介護連携推進委員連絡協議会
H29年7月6日開催

【協議内容】

- １）事務局より今年度の活動計画についての説明

- ２)「いちき串木野市介護保険の現状について」
  いちき串木野市健康増進課　若松　友子課長

- ３)「在宅医療･介護連携推進事業について」
  鹿児島地域振興局保健福祉環境部
  健康企画課　課長　永山　広子氏

＜協議会からの意見＞

・訪問歯科や在宅での口腔ケアについてなど歯科医師の意識はまだ薄い印象がある。本事業にも参加して、今後在宅診療にも目を向けてほしい。

・在宅支援の要となるケアマネージャーが口腔ケアの重要性を意識して訪問看護師や歯科医師と連携がスムーズに図れて情報共有を行うことで、　より地域住民への在宅支援が広がって行くのではないか。

・歯科医師の立場から訪問歯科診療の需要を感じているが現状として歯科医師や歯科衛生士のマンパワーが足りていない面がある。との課題も出されました。

今後の事業推進に向けて積極的な
意見や提案が出されました

《推進チーム活動進捗状況》

【チームCKH】・医療・介護関係者の研修（カ）

①研修会企画に向けて、アンケート調査実施

実施に向けてのミーティング2回（3月21日　4月18日）

アンケート配布　5月12日開始　～　5月30日回収

集計作業並びにまとめ作業（1590部配布　1297回収）

7月初め

チーム“トレプラへ集計結果提供

地域医療機関・介護関係機関合わせて94施設に配布、協力頂きました

・地域の医療・介護の資源の把握（ア）

②地域資源マップ作成に向けて、医療、介護関係機関で必要な情報についてのアンケート調査実施

【チームトレプラ】・医療・介護関係者の研修（カ）

＜研修会開催に向けてのミーティング　2回実施＞

１）医療・介護関係者を対象とする講演会企画の協議(６月13日)

日程・テーマ・演者の選定、依頼、場所、参加対象　について協議

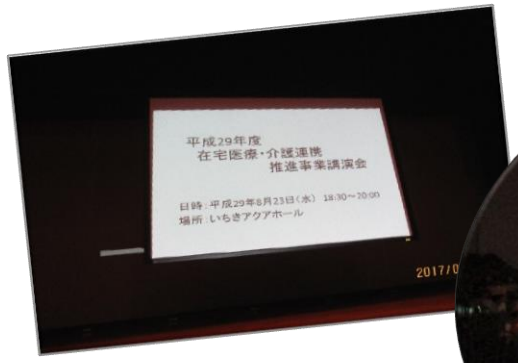
２）講演開催に向けての打ち合わせ（8月3日）

会場設営など開催準備、担当者配置の打ち合わせ

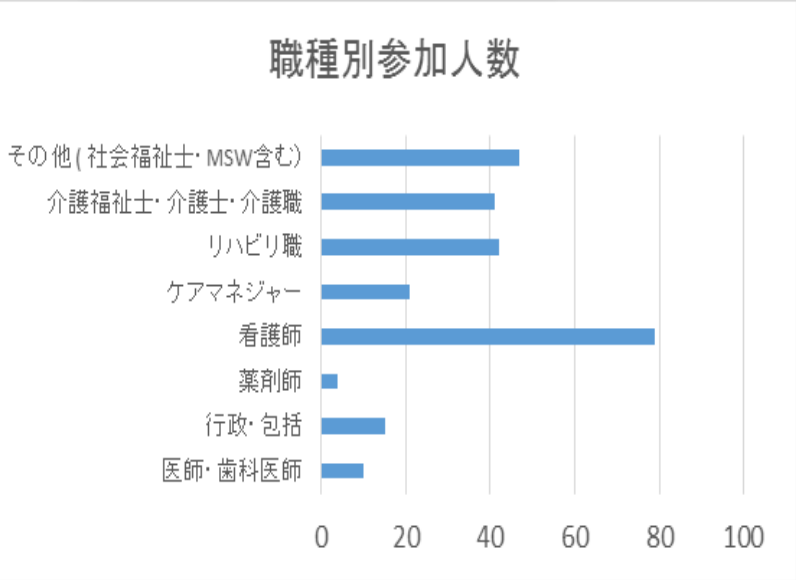
【講演会　８月２３日18:30～開催】

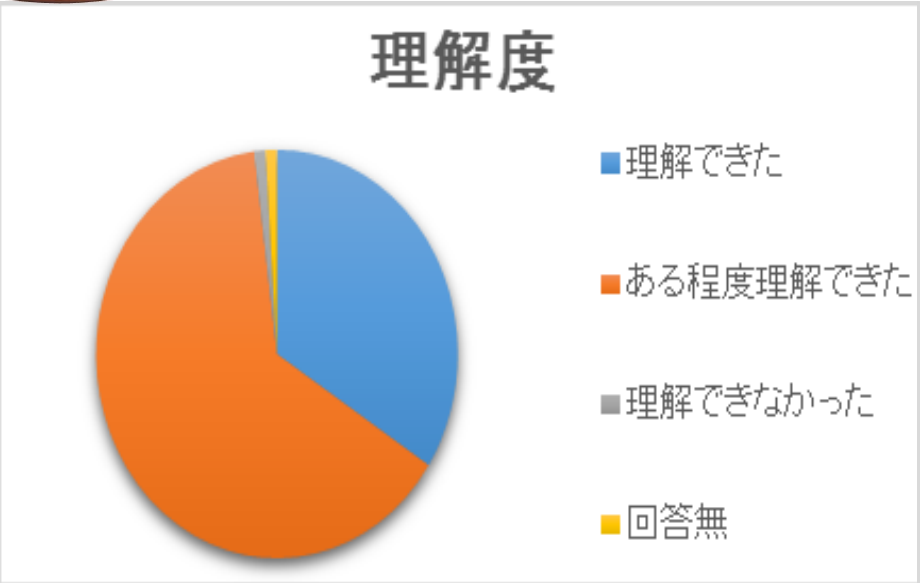
テーマ「住み慣れた地域で暮らしを支えるために
～今改めて医療と介護の連携を考える～」
①「住み慣れた地域で暮らしを支える医療と介護連携とは」
鹿児島地域振興局健康企画課　永山広子　課長
②「医療と介護の連携で“その人らしく生きる”を考える」
～訪問看護の「支援事例から見えてきたこと～
訪問看護ステーション”びっぐすまいる”管理者　柳田千草氏

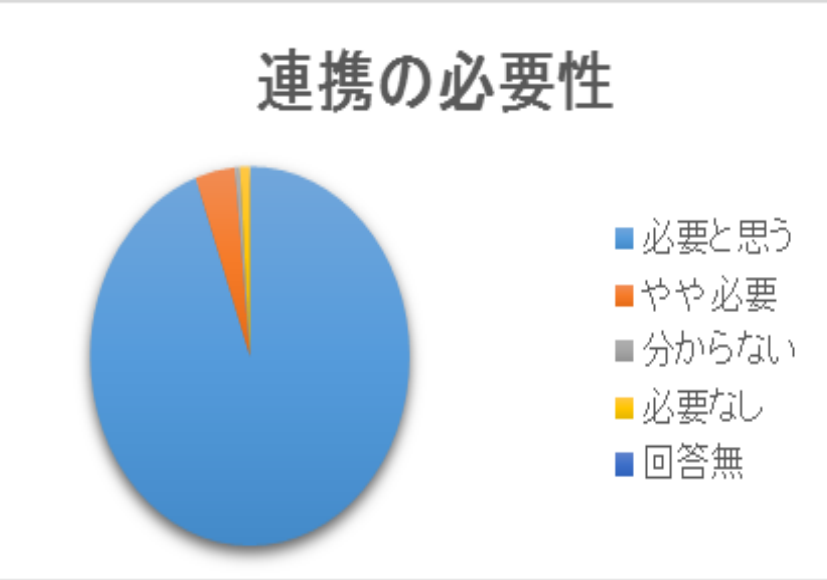
講演会開催状況



- 当日参加人数　259名
- 参加者アンケート回収　199枚







【おうちに帰ろう班】

・医療・介護関係者情報共有の支援（エ）

訪問診療を行う医師を増やすための取組み

医師会総会での説明を行う　～家で暮らし続けられるいちき串木野市へ～

（在宅医療推進・診療報酬等について説明）

・切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進（ウ）

病院内研修会での出前講座：介護保険、退院支援連携についての講演

MCS活用による医療・介護の連携並びに情報共有について説明講演

・地域住民への普及啓発（キ）

訪問看護・在宅看取りについての出前講座実施

医療・介護の相談会実施予定

第2回推進チーム連絡会開催

平成29年9月27日　脳神経外科センター大会議室

＊新メンバー1名（いちき串木野消防本部警防課救急係長）参加いただき、
多職種総数35名参加の会議となりました

- 3チームでそれぞれにグループワークを中心に現時点での活動について、また取組の進め方についてなど各グループのスケジュールについて具体的な話し合いが繰り広げられました。

チームCKH

医療・介護関係機関への広報や地域住民への広報について協議を行い、今年度中の資源マップ作成に向けて進めて行く為に、具体的な活動についての話し合いが進みました。

お家に帰ろう班

訪問診療をどのように増やしていくか。
在宅医療、介護連携推進についての広報をどのように展開していくか。
地域住民への在宅医療・介護相談会実施について等の協議が進みました。

チームトレプラ

今後に向けての研修会の内容について協議を行い、今年度は医療、介護関係機関職種で在宅支援に関する事例発表を中心にした内容の研修を2月に予定し準備を進める話し合いが行われました。

・地域住民への普及・啓発（キ）

在宅医療・介護の相談会の開催

平成29年11月15日（水） 9:00～12:00
場所： まちなかサロン

- 【実施目的】
- 在宅医療・介護推進事業広報の一環として地域住民へ在宅医療や介護について知ってもらう。
- 在宅医療や介護について地域住民の相談を受ける。安心した在宅生活支援、情報提供を行う
- 介護保険や、介護サービスについての情報提供を行う

医療・介護ネットワーク整備事業

- 医療介護ネットワーク整備事業・・H28年10月～H29年3月
  県医師会からいちき串木野市医師会委託を受けて
  医師会立脳神経外科センターが事務局となり
  事業運営を進めてきた。
  （訪問看護ステーションさくら利用者のMCSを中心に推進）

・H29年度より在宅医療・介護連携推進事業に加えられる。
10月より全面的に移行し取り組んでいく事となった。
MCS利用拡大に向けての説明会10月18日に開催

【まとめ】

- 3グループの推進チームはそれぞれの活動スケジュールに沿って着々と取組を進めています。
- チームの皆さんは、各自の忙しい業務の中、具体的に計画を進める為、自主的にミーティングや打ち合わせを適宜実施し、事業推進に尽力して頂いております。
- この事業推進には推進チームの皆さんの活躍が非常に大きいです。
- 今年度も残すところ僅かとなりましたが、チームの皆さんの強い協力のもと、活動においての評価を共有し、事業推進に向け取り組んでいく所存です。